

令和7年(2025年)5月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年5月 数量 (トン)	2025年5月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人参	徳島県・千葉県が主要産地です。数量は かなり増加、平均単価はかなり安くなりました。 た。	646	189	126%	77%
2		キャベツ	千葉県・神奈川県・茨城県が主要産地 です。各産地前年と比べて10日遅れの入荷と なりました。数量は平年並み、単価は大幅 に安くなりました。	1,011	80	100%	47%
3		トマト	熊本県・愛知県・神奈川県・栃木県が主要 産地です。数量は増加、単価は安くなりました。 た。	318	335	115%	87%
4		レタス	数量は平年並み、単価は安く推移しまし た。	228	157	100%	81%
5		馬鈴薯	前半は、鹿児島県・長崎県産の入荷が重 なりましたが、売れ行きも順調に推移しまし た。数量はやや減少、単価は高くなりました。	258	276	96%	113%
6	果 実	その他柑橘	この時期入荷される品物が高温で作柄が 悪く、かつ小玉傾向にあったため、数量は 大幅に減少し、単価は大幅に高くなりました。 た。	93	394	44%	130%
7		りんご	数量はやや増加、単価は横ばいに推移し ました。	127	503	105%	99%
8		メロン	九州から関東に産地が移行する中、関東 産地ものは肥大期の天候不順によりやや 小ぶり、1玉の単価が高めとなりました。 しかし最終的には、数量、単価どちらもやや 減少しました。	186	574	96%	96%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上